

内郷村報

炭 礦 美 談

三大 大 感 激

大 内 民 惠

鳥は枝頭に語り、心に會ふ處、皆眞の學問と爲る。花は盤外に明に、目に觸る、時、盡く是れ大文章なる。

はこれ往年記者が、聖僧新井石禪師にいたゞいた書幅である。

花に鳴く鶯、水に棲む蛙の聲を聞けば、生きとし生けるもの、いづれか歌をよまざるを、

はこれ歌聖紀貫之が書いた古今和歌集の序文の一節である。又

よく見れば齊花さく垣根かな

は俳聖芭蕉の名句である。我々はかうした古今の詩句文章を誦する時に、居常我々を圍繞する大

然は、山川草木鳥獸魚介の果に到る迄、心眼を開いて之を見る時に、其處に學問もあり藝術もあつて、我々を啓發する事の多大なるに感激せざるを得ないのである。それと共に我

鳥は枝頭に語り、心に會ふ處、皆眞の學問と爲る。花は盤外に明に、目に觸る、時、盡く是れ大文章なる。

はこれ往年記者が、聖僧新井石禪師にいたゞいた書幅である。

花に鳴く鶯、水に棲む蛙の聲を聞けば、生きとし生けるもの、いづれか歌をよまざるを、

はこれ歌聖紀貫之が書いた古今和歌集の序文の一節である。又

よく見れば齊花さく垣根かな

は俳聖芭蕉の名句である。我々はかうした古今の詩句文章を誦する時に、居常我々を圍繞する大

然は、山川草木鳥獸魚介の果に到る迄、心眼を開いて之を見る時に、其處に學問もあり藝術もあつて、我々を啓發する事の多大なるに感激せざるを得ないのである。それと共に我

内郷村報の 六大使命

- 一、政黨政派を超越して、村力充實主義を標榜す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、總親和總努力の實現を期す。
- 三、本村共済事業の徹底を期す。
- 四、村内の善事美行を表彰し、且之を獎勵す。
- 五、本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、尙餘力を以て、國民善導に當る。

に開いて、其東南邊に淡江上風を柔む白帆二三を巡り申候。更に電車にて市内を一巡し、總督府及皇福宮を見物す。此の日晝食は總督府の接待を受く。席上左の

一層平靨に向ひ、内郷の福系も一段と増進しつゝある所である。また、油断は出來ず大に努力を要します。これは勿論でありますけれども先づ御安、

行發日	一回一月	毎	二
金	八	十	四
銀	八	十	四
銅	八	十	四

人事界に於ても、同様の事と思はれる。我々は古今東西の歴史や傳記を讀み、之を崇敬し、之を模範とすべき偉人傑士を知り、倫理や道德の書物をひもといては、吾人の履むべき人道をわきまふるのであるが、何もそうした手数や順序を知らなくとも、こゝに心眼を開いて、我等身邊の人事を見渡す時に、幾多の偉人傑士も、將た倫理も、道徳も發見する事が出来る。顧みるに記者が當村に御厄介になつたのは、今より丁度十年前であつた。其頃知友から、炭礦はゴロツキの集合する處である、子供の教育上どうあらうかと大に反對されたものであつたが、余には期する處があつたので、こゝに七年會を

創立したのであつた。而して十年間に於て、それこそいろ／＼の人、雑多の事件に遭遇し、物質上の損失はもとより少くはなかつたが、精神上の收得も亦決して少くはなかつたのである。又幸に三兒の教育にもさしたる悪影響をうくる事もなく、今日あるを得たるは、大に欣快とする處である。

來て見ればさほごでもなし富士の山、釋迦も孔子もかくやあるらん

はよく人口に膾炙した狂歌であるが、我等の身邊を心眼を開いて、仔細に觀察する時に、吾人の學ぶべき人々の決して少くなく、之れとは反對に

來て見ればさほごでもなし我やまは 釋迦も孔子もさうにあるなり

少しく大袈裟ではあるが、かういひたいのである。而してこゝに説かんとする

三 大感激は、其適例なのである。此未曾有の不況時に當つて、我輩炭從業員中には、我々の知る範圍に於て、千圓乃至一萬圓内外の貯蓄を有し、尙兀々として働いて居る人が、全山を通じて十余人もあり、以下は推して知るべしである。其勤勉なる働き振り、其節

約な、おし振りは、何れも我々に範を垂れるものである。こゝに餘白がないので東京のさる實業雜誌流に、其一々に就いて紹介する事は之を省略するが、何ぞといへば、我怠惰放恣は柵に上げ

勞 働者は一生浮ぶ瀬がなよからぬ考を起す様な人々ながら、其生活に緊張を缺くが故に、借金をしたり、不義利をしたりして、苦しんで居る様な人々は、大に之に鑑むべきものであると思はれる。之れ感激の其一である。孝子とか節婦とかいつて、月上に對する善行の世に稱へられるのは少くないが、目下に對する美談の、世に表彰せらるゝもの、稀なるは頗る遺憾とすべきである。此意味に於て我町田坑の

菊 地喜代七君の如きは、大に旌表する價値を有する者と思はれる。同君は宮城縣名取郡玉浦村の人で(大正十三年誓約)妻女はよさんとの間に、三男二女の五兒を有するのであるが、妻女は昭和二年二女分宛以來産褥脚氣にかかり、最近迄滿五年の間、全く病

湯 元に着き、南間ホテルに投す。こゝは海抜四千余尺の高所に

かつた。翌十日は七時出發、約一里を隔つる精錬所に到り、鑽石より幾多の過程を経て、素銅を抽出する迄の装置や作業を見學した。特に

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社説は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。

床にあつたのであるが、同君はよく之を看護し、炊事も勤務には人一倍精勵したとの事である。記者は以上の話を勞務の内藤君から聞かされたので、直ちに其診療をうけたといふ全壽堂について、其狀況をたゞしたるに、如何にも其通りで、實に感心な人で、藥價の如きもきれいに拂つてくれた

大内民惠

暑中の 御機嫌を 御伺ひ

申上げ

同 喜美子

同 弘喜

同 多喜子

同 一郎

同 二郎

同 卷幡光

同 甲斐根丑太郎

同 胖

といふ。又去三月高等科を卒業したといふ長男喜助君の成績はどうかと、高坂校に其受持であつた小野訓導をとへば、學科の方はあまりかんばしくなかつたが、性質正直、舉動活潑、言語明瞭、容儀方正、品性善良、操行甲といふ個性調査表を示してくれ、又第三に在學中の二男及長女も殆ど同様であるを見出したのであつた。此

(以下二面へ)

の學ぶべき處、實に多大なるを痛感したのであつた。

擱筆するに當つて、古河礦業所各部の役員各位に對して、衷心から感謝の意を表するものである。

親にして此子あるかなど
いよく感心し、最後
に同君を社宅に訪ねたるに
見るからに素朴なる壯者で
もとは漁師で氣まゝをした
事、二年の兵役をつとめた
事、北海道で五百余圓をの
こし、之は其まゝ子供に譲
る積りで郷里の兄に托し、
今では其を本に家屋敷をも
とつた事、長男は我子なが
らよい心掛であり、將來百
姓希望なので兄に托した事
こゝに來た頃は景氣がよか
つたので、眞劍に働いて一
千余圓を貯金したが、妻の
病氣で全部つかつた事、今
は収入も少く貯蓄もないが
借金は一錢もなく、買物は
すべて現金でする事、裁縫
の如きも簡単な物は皆自分
でやつた事などを、問ふが
儘にポツリ／＼と話してく
れたのである。以上は同君
の行状の大要である。

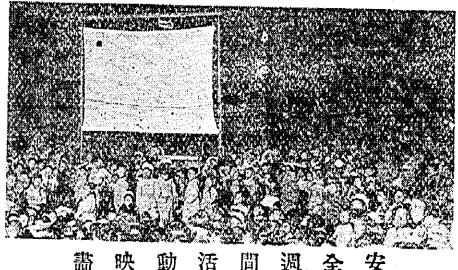
終 始一貫五年有余の間、
此苦難に處して、しか
も聊かも苦痴らしき言動な
き處、所謂聖賢にも比すべ
きである。之れ感激の其
一である。記者は昨年共
濟會員募集趣意書に、
或匿名の職工が、一昨年末
糯米を貧困者に寄贈され、
我等夫妻が感激の涙を流し
た事を書いた時に、或一部

の人々が、さういふ等はな
い、それは大内が宣傳の爲
の作り話であるなど、いは
れたものであつたが、其人
は昨年末にも同様匿名で糯
米を寄贈せられ、最近も亦
白米と金とを持参せられた
記者は餘りに其奇特なるに
打たれて、苦心して其何人
なるかを突き止め、幸にも
其氏名も住所も知る事が出
來たのであつた。されど同
君の希望を尊重して、或時
期迄之を秘する事にする。
昨年共濟會員募集の時、相
當の教養ある人々にして、
種々の文句をつけたたり、被
救護者の氏名を發表せよな
ご、といった人々のあつた事
を記憶するが、一面我村に
はかうした立派な人のある
事を知る時に、我々は大き
意を強うすると共に、大に
學ばなければならぬ事と、
痛切に考へさせらるゝので
ある。之が感激の其
二である。よく見ればな
つな花さく垣根かな、
吾人は常に須らく心眼を開
いて、自然に對し、人事に
接し、所謂我運奉すべき、
天法人則を發見して、之を
日常の行動にあらはす事に
したものである。

高坂本坑中止
坑外二坑に移轉
整理一人もなし

高坂坑本坑は、大正六年
二月開坑したのであるが、
着炭する頃から景氣は下り
坂となり、爾來今日まで殆
ど全坑閉鎖に終始した爲め
遂に大英斷を以て中止する
事になり、九分通りを退却
した。今後は高坂坑外二坑
に全力を集注する事になつ
たが、該坑は大正十年二月
開坑、十一年二月着炭、十
三年頃から休止して居た處
である。高坂坑礦夫九百名
中より八百名を收容し、剩
員百名位は夫々他坑係に
轉勤せしめ、一人の失業者
も出さなかつた事は、時節
柄慶賀の至りであつた。

安全週間
七月一日から七日迄は全
國第五回安全週間であつた
ので、磐炭では此週間は特
に全山總動員總努力で、安
全徽章をつけたり、樂隊先
頭の宣傳隊が全山をねり廻
つたり、内郷高坂綴と三ヶ
所三夜にわたつて活動映畫
をや
つた
りし
た。
此週
間に
僅か
に重
傷一
傷二
傷二
十六
といふレコード破りの好結
果を得た。



副會長就任
内郷共濟會では、野木會
長病氣の爲め、執務上支障
少なからざる爲め、幹部會
議の結果、金澤助役を副會
長に推薦し、大内副會長と
協力して會務に執掌する事
になつた。

磐炭陸上 競技部選手は
會川主將引率の下に日立に
遠征、五十三對十三對で快
勝、悠々歸山した。

ミシン 講習所では、七
日間、作品展覽會開催、百
五十点出品約半数即賣。

- 決定、調査及救濟の事務を
開始する事になつた。尙常
務委員として大内民惠氏就
任する事になつた。
- 一區 白水 上下綴
 - 二區 内町 高坂 重吉
 - 三區 泉澤 宮本 鐵太郎
 - 四區 峯根 志賀 留吉
 - 五區 宮澤 代 野子
 - 六區 御殿 立野 三本松
 - 七區 御殿 石橋 弘毅
 - 齋藤 清太郎

教育制度改革概論

矢野 恒太 大内民惠 著
服部宇之吉 大内民惠 著

行き詰れる現代の教育制度を解體し
て、學理と實際と、歴史と實驗とから
新に大内案九主義を提唱す。天下
知名の士の賛同枚舉に違あらず。さ
れど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威
京大教授小西重直博士
君を寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地
ノ御試驗ニ基クテ眞學實國ノ大精神ヲ拜
味仕リ不思感激ニ打タレ申候云々。

發行所 日本評論社
東京九ノ内沼和ビル
取次所 内郷村報社

全山代表祈願
磐炭では先月優良従業員
十名を選び、水戸運輸主催
の水郷廻遊団体に社費を以

東北一を誇る
磐炭プール

磐炭では先月優良従業員
十名を選び、水戸運輸主催
の水郷廻遊団体に社費を以

磐炭では先月優良従業員
十名を選び、水戸運輸主催
の水郷廻遊団体に社費を以

